

# SecureXとSecure Email Appliance ( 以前のESA ) の統合のトラブルシューティング

## 内容

---

[はじめに](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[背景説明](#)

---

## はじめに

このドキュメントでは、基本的な分析を実行する手順と、SecureXとInsightsおよびSecure Email Appliance統合モジュールのトラブルシューティング方法について説明します。

## 前提条件

### 要件

次の項目に関する知識があることが推奨されます。

- SecureX
- セキュリティサービス交換
- 安全な電子メール

### 使用するコンポーネント

このドキュメントの情報は、次のソフトウェアとハードウェアのバージョンに基づいています。

- セキュリティサービス交換
- SecureX 1.54
- ソフトウェアバージョン13.0.0-392上のSecure Email C100V

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されました。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、クリアな ( デフォルト ) 設定で作業を開始しています。本稼働中のネットワークでは、各コマンドによって起こる可能性がある影響を十分確認してください。

## 背景説明

Cisco Secure Email Appliance ( 旧称Eメールセキュリティアプライアンス ) は、エンドツーエンドの暗号化により、脅威の検出、ブロック、修復の高速化、データ損失の防止、転送中の重要な

情報の保護を実現する高度な脅威保護機能を提供します。設定が完了すると、Secure Email Applianceモジュールによって、観察可能な項目に関連する詳細情報が提供されます。次の操作を実行できます。

- 組織内の複数のアプライアンスからのEメールレポートおよびメッセージトラックデータを表示する
- 電子メールレポートおよびメッセージトラックで見られる脅威を特定、調査、および修復する
- 特定された脅威を迅速に解決し、特定された脅威に対する推奨処置を提供する
- 脅威を文書化して調査を保存し、他のデバイス間での情報のコラボレーションを可能にする

セキュアEメールアプライアンスモジュールを統合するには、セキュリティサービス交換(SSE)を使用する必要があります。SSEを使用すると、Secure Email ApplianceをExchangeに登録し、登録されたデバイスへのアクセス権を明示的に付与できます。

設定の詳細については、この記事の[ここ](#)にある統合モジュールの詳細を参照してください。

## トラブルシューティング

SecureXとSecure Email Appliance(SEA)の統合に関する一般的な問題をトラブルシューティングするには、次の手順を確認できます。

### SecureXまたはSecurity Services Exchangeポータルにセキュアな電子メールデバイスが表示されない

デバイスがSSEポータルに表示されない場合は、次の図に示すように、SSEポータルでSecureX Threat ResponseおよびEventサービスを有効にし、Cloud Servicesに移動して、サービスを有効にしてください。

The screenshot displays the 'Cloud Services for [redacted]' configuration page in the Cisco Security Services Exchange. The page features two service cards:

- Cisco SecureX threat response:** This card is currently disabled. A description states: "Cisco SecureX threat response enablement allows you to utilize supported devices in the course of a cybersecurity investigation. It also allows this platform to send high fidelity security events and observations to Threat Response." A blue toggle switch is in the 'off' position, and a gear icon for settings is visible.
- Eventing:** This card is also currently disabled. A description states: "Eventing allows you to collect and view events in the cloud." A blue toggle switch is in the 'off' position, and a gear icon for settings is visible.

The top navigation bar includes 'Security Services Exchange' and 'Cloud Services' (which is the active tab). Other tabs include 'Devices', 'Events', and 'Audit Log'. The user's name 'Brenda Marquez' is shown in the top right corner.

## セキュアな電子メールでは登録トークンは要求されません

Cisco SecureX/Threat Responseサービスを有効にした後は、必ず変更をコミットしてください。そうしないと、変更がSecure EmailのCloud Serviceセクションに適用されません。次の図を参照してください。

### Cloud Service Settings

Success — Your changes have been committed.

Cloud Services	
Cisco SecureX / Threat Response:	Enabled
Cisco SecureX / Threat Response Server:	NAM (api-sse.cisco.com)
Connectivity:	Proxy Not In Use

[Edit Settings](#)

Cloud Services Settings	
Status:	The Cisco SecureX / Cloud Service is busy. Navigate back to this page after some time to check the appliance status.

## トークンが無効または期限切れのため、登録に失敗しました

エラーメッセージ「The registration failed because of an invalid or expired token.次の図に示すように、Secure Email GUIでCisco Threat Response portal」を使用して、アプライアンスに有効なトークンを使用していることを確認します。

### Cloud Service Settings

Error — The registration failed because of an invalid or expired token. Make sure that you use a valid token when registering your appliance with the Cisco Threat Response portal.

Cloud Services	
Threat Response:	Enabled

[Edit Settings](#)

Cloud Services Settings	
Registration Token: ⓘ	<input type="text"/>

[Register](#)

トークンが正しいクラウドから生成されていることを確認してください。

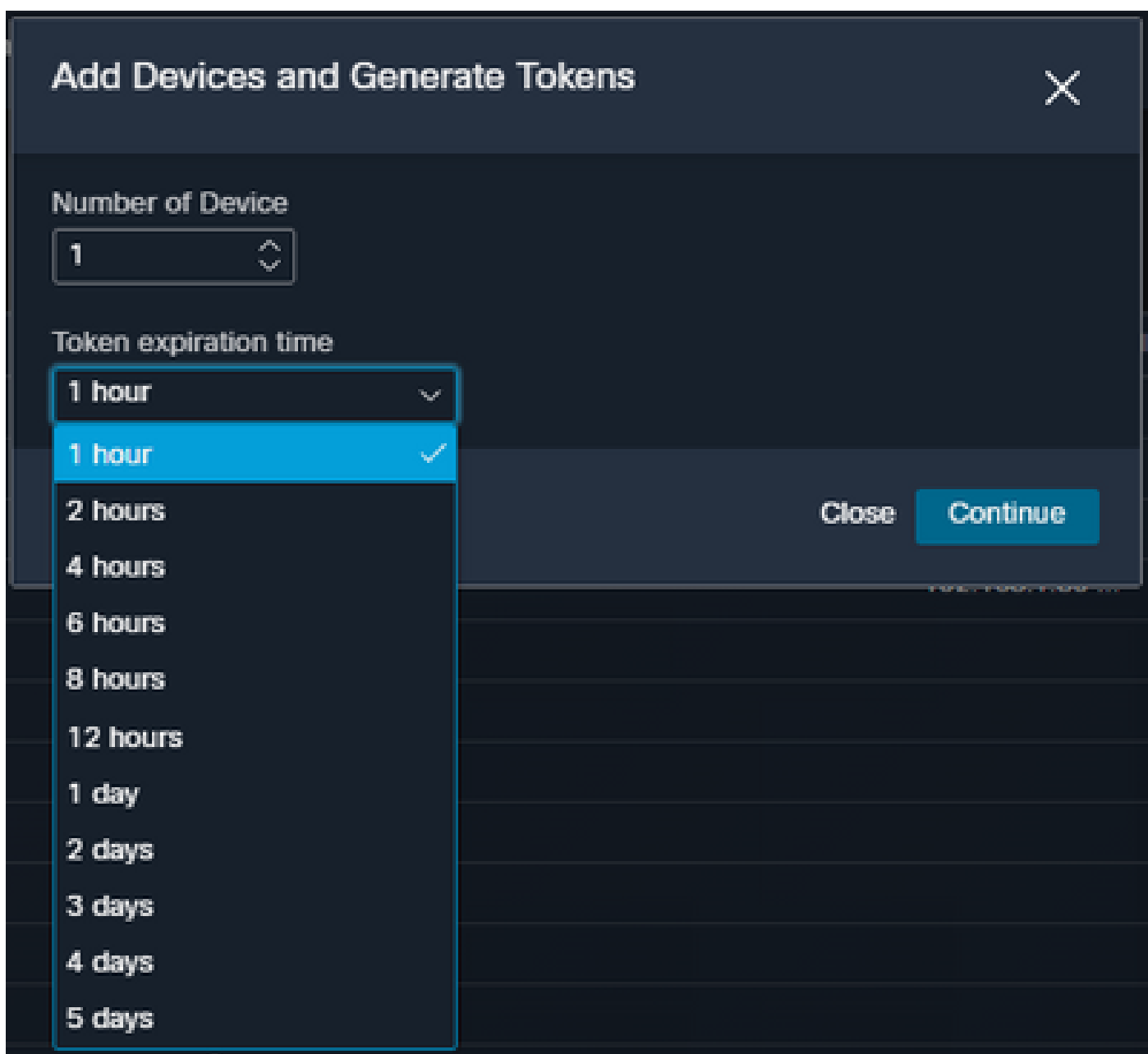
欧州(EU)のクラウドを使用してセキュアな電子メールを実現する場合は、<https://admin.eu.sse.itd.cisco.com/>からトークンを生成します。

セキュアメールに南・北・中央アメリカ(NAM)クラウドを使用する場合は、<https://admin.sse.itd.cisco.com/>からトークンを生成します。

セキュリティサービスエクステンジ(SSE)ポータル :	名前 : <a href="https://admin.sse.itd.cisco.com/">https://admin.sse.itd.cisco.com/</a> 欧州 : <a href="https://admin.eu.sse.itd.cisco.com/">https://admin.eu.sse.itd.cisco.com/</a>
-----------------------------	--

Cisco SecureXポータル	名前 : <a href="https://securex.us.security.cisco.com/">https://securex.us.security.cisco.com/</a> 欧州 : <a href="https://securex.eu.security.cisco.com/">https://securex.eu.security.cisco.com/</a>
セキュアな電子メールCisco SecureX/Threat Response Server:	NAM:api-sse.cisco.com EU:api.eu.sse.itd.cisco.com

また、図に示すように、登録トークンには有効期限があります（時間内に統合を完了するのに最も便利な時間を選択してください）。



SecureXダッシュボードにセキュア電子メールモジュールの情報が表示されない

次の図に示すように、使用可能なタイルで過去1時間から過去90日までの幅広い時間範囲を選択

できます。

Last Hour ^

- Last Hour
- Last 24 Hours
- Last 7 Days
- Last 30 Days
- Last 60 Days
- Last 90 Days

## 翻訳について

シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版（リンクからアクセス可能）もあわせて参照することを推奨します。